

ものづくり体験教室 親子で工具箱なと製作

ポリテクセンター佐賀

独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構佐賀支部佐賀職業能力開発促進センター（佐賀市兵庫町、峯恭彦所長、愛称・ポリテクセンター佐賀）は3日、同センターで「ものづくり体験教室」を



親子で一緒に工具箱を作った

開いた。佐賀市や神埼市、吉野ヶ里町の小学4～6年生と保護者44組（88人）が参加。工具箱やティッシュケースなどを製作し、ものづくりの楽しさを体験した。

この取り組みは、ものづくりに関連する仕事に興味を持ってもらえるよう、全国の職業能力開発促進センター（ポリテクセンター）が毎年行っているもの。佐賀ではワミニ四駆▽太陽光で進むバッタ▽工具箱▽ティッシュケースを作った。工具箱づくりでは、

シナ合板を使い、幅15センチ、長さ30センチ、高さ11・5センチの木製工具箱を製作。職業訓練指導員（テク

クノインストラクター）が設計図や道具の使い方などを丁寧に説明した後、親子で協力しながら作業を進

め、約2時間かけて完成させた。

参加した子どもたちは「綺麗にできて、楽しかった」「小さい釘を打ち込むのが難しかったけど、完成したので良かった」などと語り、保護者は「指導してくれた先生が丁寧に教えてくれたので、楽しく取り組むことがで



ものづくり体験教室の様子

きた」と話した。

峯所長は「親子で一緒にものづくりに取り組み、夏休みの良い思い出になったと思う。ものづくりの技術を教えるテクノインストラクターという職業も含め、ものづくりに関連する仕事に興味を持ってくれたら嬉しい」と語った。